



南方寛一教授略歴・著作目録(南方寛一教授追悼号)

(Citation)

国民経済雑誌, 154(6):131-134

(Issue Date)

1986-12

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(JaLCD0I)

<https://doi.org/10.24546/00173626>

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00173626>



南方寛一教授 略歴・著作目録

略 歴

大正12年10月 8 日	和歌山市において出生
昭和16年 3 月	和歌山県立和歌山商業学校卒業
昭和18年 9 月	和歌山高等商業学校卒業
昭和18年10月	神戸商業大学（翌年神戸経済大学と改称）入学
昭和18年12月	兵役のため休学
昭和20年10月	復学
昭和22年 9 月	神戸経済大学卒業
昭和22年10月	神戸経済大学助手
昭和26年10月	神戸大学助教授（経済学部）
昭和37年 3 月	神戸大学教授
昭和37年 8 月	連合王国、西ドイツ、フランス、オーストリアなどヨーロッパ各国へ出張（昭和38年 9 月まで）
昭和40年 4 月	神戸大学経済学部補導委員（昭和41年 3 月まで）
昭和41年 4 月	神戸大学経済学部夜間学部主事（昭和42年 3 月まで）
昭和44年 4 月	神戸大学六甲台後援会幹事、のち理事、常務理事
昭和45年 4 月	神戸大学評議員（昭和48年 5 月まで）
昭和47年 7 月	連合王国に出張（昭和47年 9 月まで）
昭和49年11月	神戸大学経済学部長（昭和51年11月まで） 神戸大学評議員（同 上） 神戸大学大学院経済学研究科長（同上）
昭和60年 9 月	叙従三位勲二等瑞宝章
昭和60年 9 月17日	逝去

著 作 目 録

——研究論文——

貨幣的所得効果について——ランゲ理論の一批判——

国民経済雑誌 第81巻6号 昭和25年6月

需要・供給・価格——P. A. Samuelson, *Economics*. 1951. によって——

北野熊喜男編『経済学教材』第4編（三和書房）（昭和37年版まで）* 昭和27年5月

- マーシャルの価値論 神戸大学創立50周年記念論文集 (経済学編) 昭和28年 5月
- マーシャルの価値論 (その二) 国民経済雑誌 第88巻 2号 昭和28年 8月
- マーシャルの価値論 (その三) 国民経済雑誌 第90巻 5号 昭和29年11月
- アダム・スミスの資本蓄積論 (一) ——再生産の構造——
国民経済雑誌 第92巻 2号 昭和30年 8月
- イギリス新古典派経済学の展開 北野熊喜男編『経済学説全集』
第10巻第2章 (坂本彌三郎と共同執筆) (河出書房) 昭和31年 3月
- リカード価値論の一節——『原論』第三版価値論の一解釈——
神戸大学経済学研究年報 3 昭和31年12月
- リカードの需給論 国民経済雑誌 第94巻 6号 昭和31年12月
- トレンスの価値論 国民経済雑誌 第97巻 3号 昭和33年 3月
- セニオアの価値論 神戸大学経済学研究年報 5 昭和33年 9月
- リカード分配論の基本命題 国民経済雑誌 第100巻 3号 昭和34年 9月
- リカード分配論 国民経済雑誌 第100巻 5号 昭和34年11月
- マルサスの価値論 国民経済雑誌 第101巻 3号 昭和35年 3月
- J. S. ミルの『原理』における需給法則 神戸大学経済学研究年報 8 昭和36年 5月
- Lauderdaleの価値論 国民経済雑誌 第104巻 4号 昭和36年10月
- マッチ需要の構造
藤井 茂編『マッチ工業構造論』第1編 (日本評論新社) 昭和37年 9月
- アダム・スミスの需給説 国民経済雑誌 第106巻 3号 昭和37年 9月
- マーシャル (ジェヴォンズ・マーシャル・ビグー)
内田義彦・小林 昇・宮崎義一・宮崎軍一編集
『経済学史講座1—経済学史の基礎』第4編第2章 (有斐閣) 昭和39年 5月
- ジェヴォンズとマーシャル 国民経済雑誌 第110巻 2号 昭和39年 8月
- A Note on Ricardo's Theory of Value
Kobe University Economic Review 10 昭和39年
- リカードの価値論——その分配論との関係——
国民経済雑誌 第111巻 5号 昭和40年 5月
- リカードの価値尺度論 国民経済雑誌 第113巻 5号 昭和41年 5月
- Adam Smith on Demand Kobe University Economic Review 13 昭和42年
- 経済・社会生活の指針——現代世界憲章について——
『声』 (第1072号) 昭和42年 6月
- マルサスの需給原理 国民経済雑誌 第116巻 2号 昭和42年 8月

スミスの『国富論』における資本の用途——農業重視の意味——

神戸大学経済学研究年報14 昭和42年7月

マルサスの価値尺度論

国民経済雑誌 第118巻3号 昭和43年9月

リカード経済学の体系と性格

国民経済雑誌 第121巻2号 昭和45年2月

経済学史

『経済学研究のために』（神戸大学経済経営学会） 昭和45年11月

主観的価値論と価格

国民経済雑誌 第125巻2号 昭和47年2月

経済学史

『経済学研究のために』

（神戸大学経済経営学会） 増補改訂版 昭和49年4月

古典学派における均衡論

国民経済雑誌 第138巻3号 昭和53年9月

経済学史

『経済学研究のために』

（神戸大学経済経営学会） 増補改訂第2版 昭和54年4月

マーシャルの代用原理

広島大学経済論叢 第3巻4号 昭和55年1月

ストックとフロー——経済学における時間の側面——

国民経済雑誌 第141巻2号 昭和55年2月

経済学史——限界革命まで——

『経済学研究のために』（神戸大学経済経営学会） 増補改訂第3版 昭和58年4月

——書 評——

森 茂也『イギリス価格論史——古典派需給論の形成と展開——』

国民経済雑誌 第150巻1号 昭和59年7月

——紹 介——

ラグナア・フリッシュ「アルフレッド・マーシャルの価値論」

国民経済雑誌 第85巻6号 昭和27年6月

アルフォード「マーシャルの需要曲線」

国民経済雑誌 第94巻3号 昭和31年9月

——そ の 他——

リカード価値論の一節

坂本会会報 第4号 昭和30年10月

坂本先生——人と学問——

国民経済雑誌 第98巻4号 昭和33年10月

古武士的風格——坂本弥三郎先生を憶う——

経済学史学会年報 第19号 昭和46年11月

収 穫 通 減 の 法 則

凌霜 第266号 昭和55年2月

上記の著作目録は学術的なものだけに限り、随筆、時評などは省略した。

* 本書は当初上下2冊で発行されていたが、後には1冊本となった。また途中で『経済原論教材』とタイトルが変更されている時期もある。